

第2問 次の文章を読み、下の問いに答えよ。(配点 X)

㉑ 青年期は人が子どもから大人へと移行していく重要な時期である。一般にこの時期にはさまざまな発達的变化がみられるとされており、身体的な面では身長や体重が大幅に増加したり二次性徴がみられたりする。また、精神的な面では㉒ 自我というものを意識し始め、人間関係が大幅に変化し、特に親からの分離・独立である 9 はその代表例であるとされる。しかし、そのような発達的一方で㉓ 壁にぶつかったり挫折をしやすい時期であるのもたしかである。また、ジレンマによる㉔ 葛藤にも出会いやすい。そのような数々の困難を超えていく中で青年は成長し大人の仲間入りを果たすのであろう。

さて、その一方でかつては㉕ 通過儀礼を経ることによって子どもはいきなり大人への仲間入りをするために青年期は存在していなかったとされており青年期の存在は㉖ 現代社会の特質だとする考え方もある。だとすると、現代社会が青年に課した宿題はあまりにも大きいものではないだろうか。

現代社会

問1 下線部 ㉑ に関する記述として**適当でないもの**を、次の ①～④ の中から一つ選べ。

7

- ① エリクソンは青年期を経済用語の「モラトリアム」ということばであらわした。
- ② 大人と子どもの狭間にありどちらにも所属していない青年をレヴィンは「モラトリアム人間」と呼んだ。
- ③ ハヴィガーストは青年が取り組むべき発達課題を提唱した。
- ④ ルソーは青年期に人は第二の誕生をするとした。

問2 下線部 ㉒ に関連して、自我同一性(アイデンティティ)について記述として**適当でないもの**を、次の ①～④ の中から一つ選べ。

8

- ① 自立した人生を送るためにはアイデンティティの確立または達成が必要だとされる。
- ② アイデンティティの確立は青年期の重要な発達課題だとされる。
- ③ アイデンティティの確立を求めるあまり自己を失ってしまうことをアイデンティティの喪失という。
- ④ アイデンティティの確立にあたっては自己の体験だけではなく他者の体験から学ぶこともある。

問3 文中の 9 に入れる語句として最も適当なもの次の ①～④ の中から一つ選べ。

- | | |
|---------|---------|
| ① 社会的離乳 | ② 社会的独立 |
| ③ 心理的独立 | ④ 心理的離乳 |

問4 下線部 ㉓に関連して、人は物事がうまくいかないとき適応機制(防衛機制)を使って一時的に問題の解決を図ろうとする。次のア～オの適応機制の例はA～Cのどの種類のものを用いているか。その組み合わせとして最も適当なものを①～④の中から一つ選べ。

10

- ア A君は彼女に振られたことをバネに部活動に打ち込み、全国大会出場を果たした。
- イ Bさんは限定品を買えなかったので、その商品は質が悪いものなのだと思うことにした。
- ウ Cさんは京都に旅行に行けなかったので代わりに奈良に行くことにした。
- エ D君は数学のテストが嫌だったので学校を休むことにした。
- オ 実際はEさんがFさんを嫌っているにも関わらず、EさんはFさんがEさんを嫌っているのだと思っている。

- A 昇 華
- B 逃 避
- C 合理化

- | | | |
|------------|------------|------------|
| ① Aア Bエ Cイ | ② Aウ Bエ Cイ | ③ Aエ Bイ Cウ |
| ④ Aア Bエ Cオ | ⑤ Aウ Bイ Cア | ⑥ Aエ Bイ Cウ |

現代社会

問5 下線部 ㉔ に関する記述として**適当でないもの**を、次の ①～④ の中から一つ選べ。

11

- ① 葛藤とは個人の中に2つ以上の欲求が対立して選択するのが困難な状態のことである。
- ② 葛藤の一種である「接近・接近型」は二つの望ましいものがあるがどちらか一方しか選べない状況におきる。
- ③ 葛藤の一種である「回避・回避型」は二つの望ましくないものがあるがその両者を受け入れなければならない状況に起きる。
- ④ 「近づきたい」と「離れたい」のように同時に成立しえない矛盾した欲求により葛藤に陥ることを「ヤマアラシのジレンマ」という。

問6 下線部 ㉕ について日本の通過儀礼として最も**適当なもの**を、次の ①～④ の中から一つ選べ。

12

- ① 彼岸 ② 新嘗祭 ③ 七五三 ④ 七夕

問7 下線部 ㉖ に関する記述として最も**適当なもの**を、次の ①～④ の中から一つ選べ。

13

- ① 現代社会は大衆社会といわれるが、リースマンは大衆社会に典型的な人間像を「内部指向型」と名付けた。
- ② 現代社会に生きる人々は「孤独な群衆」といわれるように世論などといった周りの人間の動きに敏感でまたそれに同調して行動をする。
- ③ 現代社会においては伝統な身分制度に基づく所得、職業、社会的地位などの格差が大きな問題となっている。
- ④ 現代社会は近代ヨーロッパ市民革命がその発端であり、人は自らの信念や両親に基づいて主体的に行動をする。